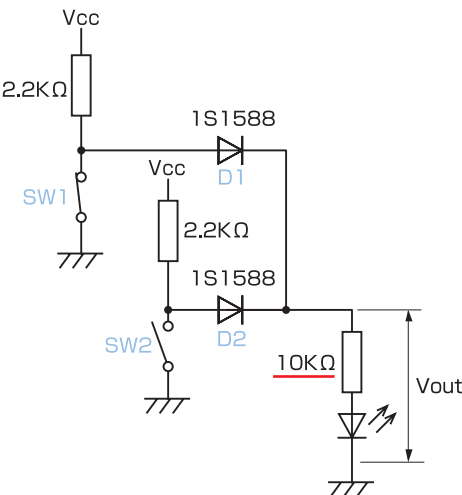
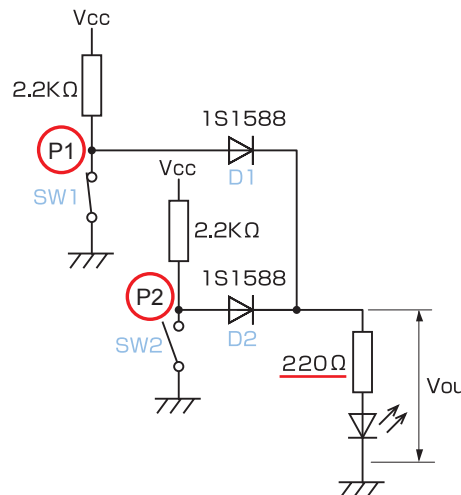
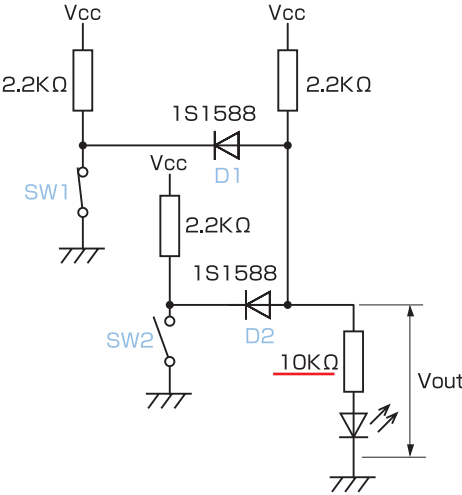
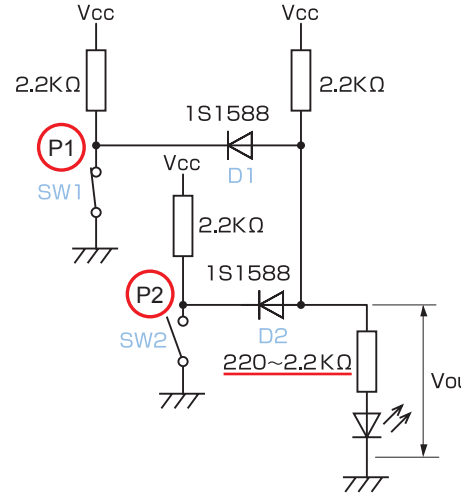
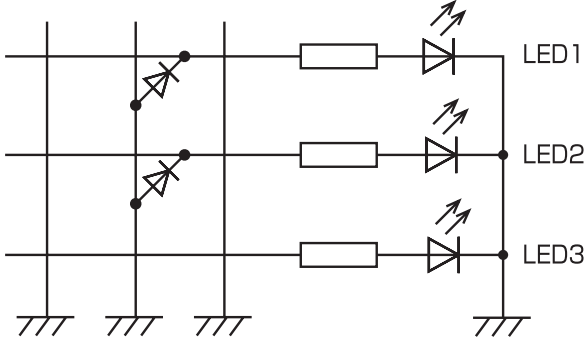
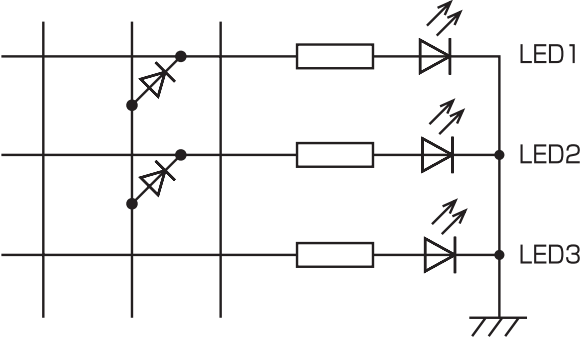
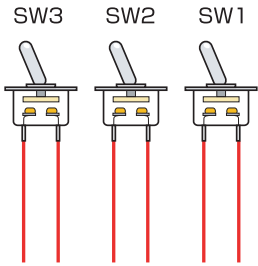
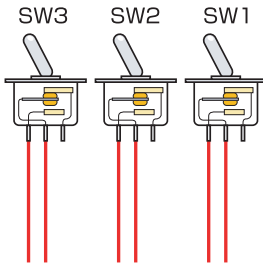
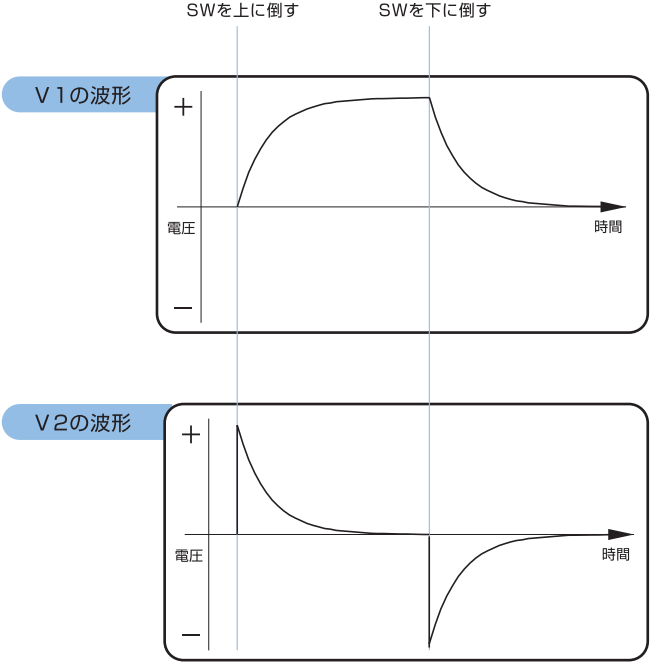


ページ	誤	正
P6	上から1行目 前ページの回路の接続例を載せておきます。	4ページの回路の接続例を載せておきます。
P21	テスタで電流を測るときの等価回路の説明文 50mA の電流を計測するためにはメータと並列に接続する分流器としてのR1、 メータと直列に接続する倍率器としてのR2 のそれぞれの抵抗値をいくらに設定すればよいか? ① I3 はメータの特性から300 μ A にしたい。またテスタを接続することによるA - B間の電圧降下を0.2V 以下にしたい。 この関係からメータの抵抗300 ΩとR2を直列に接続するのでRは300 + R2、電流は0.0003A、電圧は0.2Vとなる。オームの法則R = E / Iから下の式が成立する。 $300 + R2 = 0.2 / 0.0003$ これからR2は366 Ωとなる。 ② I3 + I2 = I1 が成立する。ここでI3 = 0.0003A、I1 = 0.05A なのでI2 = 0.0497Aとなる。一方、A - B 間の電圧は0.2V なのでR = E / Iから $R = 0.2 / 0.0497 = 4 \Omega$ と算出される。	50mA の電流を計測するためにはメータと並列に接続する分流器としてのR1の抵抗値をいくらに設定すればよいか? ① I3 はメータの特性から300 μ A にしたい。またテスタを接続することによるA - B間の電圧降下を0.09V 以下にしたい。 ② I3 + I2 = I1 が成立する。ここでI3 = 0.0003A、I1 = 0.05A なのでI2 = 0.0497Aとなる。一方、A - B 間の電圧は0.09V なのでR = E / Iから $R = 0.09 / 0.0497 = 1.8 \Omega$ と算出される。
P21	下から9行目～3行目 を0.2V 以下に抑えることにしましょう。 そのためにメータに直列に抵抗R2を接続します。この抵抗R2は倍率器の機能を持っています。倍率器というのは電圧測定の場合にメータの両端にかかる電圧の数倍の電圧を測定できるようにするために利用します。 ここでは300 Ωの抵抗に300 μ A の電流を流すのですからメータが最大に振れるときの電圧は0.09V です。 しかし抵抗R2を直列に接続することでR2とメータ端には0.2Vの電圧がかかったときにフルに振れるように設定できるわけです。 このようにテスタではレンジを切替えることで分流器や倍率器の抵抗値を切替えているのです。	を0.09V 以下に抑えることにしましょう。ここでは300 Ωの抵抗に300 μ A の電流を流すのですからメータが最大に振れるときの電圧は0.09V です。このようにテスタではレンジを切替えることで電流測定時は分流器を、そして電圧測定時には倍率器の抵抗値を切替えているのです。

ページ	誤	正																																																							
P32	 <p style="text-align: center;">ダイオードを利用した OR 回路</p>	 <p style="text-align: center;">ダイオードを利用した OR 回路</p>																																																							
P32	<table border="1" data-bbox="279 873 805 1108"> <thead> <tr> <th>SW1</th> <th>SW2</th> <th>D1</th> <th>D2</th> <th>Vout</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>● OFF</td> <td>● OFF</td> <td>H</td> <td>H</td> <td>H</td> </tr> <tr> <td>○ ON</td> <td>● OFF</td> <td>H</td> <td>L</td> <td>H</td> </tr> <tr> <td>● OFF</td> <td>○ ON</td> <td>L</td> <td>H</td> <td>H</td> </tr> <tr> <td>○ ON</td> <td>○ ON</td> <td>L</td> <td>L</td> <td>L</td> </tr> </tbody> </table>	SW1	SW2	D1	D2	Vout	● OFF	● OFF	H	H	H	○ ON	● OFF	H	L	H	● OFF	○ ON	L	H	H	○ ON	○ ON	L	L	L	<table border="1" data-bbox="941 873 1508 1108"> <thead> <tr> <th>SW1</th> <th>SW2</th> <th>P1</th> <th>P2</th> <th>Vout</th> <th>LED</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>H</td> <td>H</td> <td>H</td> <td>点灯</td> </tr> <tr> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>L</td> <td>H</td> <td>H</td> <td>点灯</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>H</td> <td>L</td> <td>H</td> <td>点灯</td> </tr> <tr> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>L</td> <td>L</td> <td>L</td> <td>消灯</td> </tr> </tbody> </table>	SW1	SW2	P1	P2	Vout	LED	OFF	OFF	H	H	H	点灯	ON	OFF	L	H	H	点灯	OFF	ON	H	L	H	点灯	ON	ON	L	L	L	消灯
SW1	SW2	D1	D2	Vout																																																					
● OFF	● OFF	H	H	H																																																					
○ ON	● OFF	H	L	H																																																					
● OFF	○ ON	L	H	H																																																					
○ ON	○ ON	L	L	L																																																					
SW1	SW2	P1	P2	Vout	LED																																																				
OFF	OFF	H	H	H	点灯																																																				
ON	OFF	L	H	H	点灯																																																				
OFF	ON	H	L	H	点灯																																																				
ON	ON	L	L	L	消灯																																																				
P33 P34	<p>(1ページにつき4ヶ所 合計8ヶ所)</p> <table border="1" data-bbox="399 1232 678 1288"> <thead> <tr> <th>D1</th> <th>D2</th> <th>Vout</th> </tr> </thead> </table>	D1	D2	Vout	<table border="1" data-bbox="1093 1232 1356 1288"> <thead> <tr> <th>P1</th> <th>P2</th> <th>Vout</th> </tr> </thead> </table>	P1	P2	Vout																																																	
D1	D2	Vout																																																							
P1	P2	Vout																																																							
P34	 <p style="text-align: center;">ダイオードを利用した AND 回路</p>	 <p style="text-align: center;">ダイオードを利用した AND 回路</p>																																																							
P34	<p>上から5~6行目 全差し替え</p> <p>この場合Voutには負荷を接続しないのでそれほど大きな電流は必要ないのでK単位の抵抗値でもかまいません。</p>	<p>この場合VoutのLEDにはすでに右上の2.2KΩが接続されているので、輝度をある程度保つには2.2KΩより大きな抵抗値は不適切でしょう。</p>																																																							

ページ	誤	正																																																							
P34	<table border="1" data-bbox="279 264 810 497"> <thead> <tr> <th>SW1</th> <th>SW2</th> <th>D1</th> <th>D2</th> <th>Vout</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>● OFF</td> <td>● OFF</td> <td>H</td> <td>H</td> <td>H</td> </tr> <tr> <td>○ ON</td> <td>● OFF</td> <td>L</td> <td>H</td> <td>L</td> </tr> <tr> <td>● OFF</td> <td>○ ON</td> <td>H</td> <td>L</td> <td>L</td> </tr> <tr> <td>○ ON</td> <td>○ ON</td> <td>L</td> <td>L</td> <td>L</td> </tr> </tbody> </table>	SW1	SW2	D1	D2	Vout	● OFF	● OFF	H	H	H	○ ON	● OFF	L	H	L	● OFF	○ ON	H	L	L	○ ON	○ ON	L	L	L	<table border="1" data-bbox="943 264 1508 497"> <thead> <tr> <th>SW1</th> <th>SW2</th> <th>P1</th> <th>P2</th> <th>Vout</th> <th>LED</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>H</td> <td>H</td> <td>H</td> <td><u>点灯</u></td> </tr> <tr> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>L</td> <td>H</td> <td>L</td> <td><u>消灯</u></td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>H</td> <td>L</td> <td>L</td> <td><u>消灯</u></td> </tr> <tr> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>L</td> <td>L</td> <td>L</td> <td><u>消灯</u></td> </tr> </tbody> </table>	SW1	SW2	P1	P2	Vout	LED	OFF	OFF	H	H	H	<u>点灯</u>	ON	OFF	L	H	L	<u>消灯</u>	OFF	ON	H	L	L	<u>消灯</u>	ON	ON	L	L	L	<u>消灯</u>
SW1	SW2	D1	D2	Vout																																																					
● OFF	● OFF	H	H	H																																																					
○ ON	● OFF	L	H	L																																																					
● OFF	○ ON	H	L	L																																																					
○ ON	○ ON	L	L	L																																																					
SW1	SW2	P1	P2	Vout	LED																																																				
OFF	OFF	H	H	H	<u>点灯</u>																																																				
ON	OFF	L	H	L	<u>消灯</u>																																																				
OFF	ON	H	L	L	<u>消灯</u>																																																				
ON	ON	L	L	L	<u>消灯</u>																																																				
P36 P60																																																									
P37																																																									
P46	<p>すべての記載部分(4ヶ所)</p> <p style="text-align: center;">STEP15</p>	<p style="text-align: center;">STEP16</p>																																																							
P47	<p>1行目</p> <p style="text-align: center;">これは「② STEP15 の</p>	<p style="text-align: center;">これは「② STEP16 の</p>																																																							
P48	<p>すべての記載部分(4ヶ所)</p> <p style="text-align: center;">STEP15</p>	<p style="text-align: center;">STEP16</p>																																																							
P49	<p>1行目</p> <p style="text-align: center;">これは「③ STEP15 の</p>	<p style="text-align: center;">これは「③ STEP16 の</p>																																																							
P50	<p>5行目</p> <p>①～④について(a) か(b) で答え<u>で</u>てください。</p>	<p>①～④について(a) か(b) で答え<u>て</u>ください。</p>																																																							
P53	<p><u>^</u> まず表のH8 からH30 までの・・・</p> <p><u>==</u> 「挿入」->「グラフ作成」ウィザ・・・</p> <p><u>'</u> 「系列」タブを選択し、「項目ラベ・・・</p> <p><u>a</u> 「次へ」を押しタイトルと各軸の・・・</p>	<p><u>①</u> まず表のH8 からH30 までの・・・</p> <p><u>②</u> 「挿入」->「グラフ作成」ウィザ・・・</p> <p><u>③</u> 「系列」タブを選択し、「項目ラベ・・・</p> <p><u>④</u> 「次へ」を押しタイトルと各軸の・・・</p>																																																							

ページ	誤	正
P55	数式にカブさった記号不要	$V1 = \frac{Q}{C} = \frac{1}{C} \int_0^t idt$
P55	<p>SWを上にも倒す SWを下にも倒す</p>  <p>V1の波形</p> <p>V2の波形</p> <p>(a)</p> <p>(b)</p> <p>図記号追加</p>	
P55	下から12行目 従って <u>V1</u> が0V なので抵抗に電源電圧が	従って <u>V2</u> が0V なので抵抗に電源電圧が
P55	下から10行目 で <u>V1</u> が (a) のように発生します。	で <u>V2</u> が (b) のように発生します。
P55	下から6行目 コンデンサは放電を開始すると (a)	コンデンサは放電を開始すると (b)
P60 STEP13	①～⑤の配線が不足	